



八幡東警察署からのお知らせ

子ども騙りの詐欺多発中！

はじめに・・

子ども騙りの詐欺は、昔は「オレオレ」などと言って子どもの名前を知らずに騙してきていたので、「オレオレ詐欺」と言われていました。

しかし、最近は**子どもの名前**を調べた上で騙してきます。

相手が子どもの名前を知っていたとしても信用してはいけません！



手口の紹介

○ 子ども・駅職員騙り

- ① 子どもから「カバンと携帯電話を落とした」との電話
- ② 駅職員から「子どもさんのカバンの落し物を預かっている」との電話
- ③ 子どもから「得意先に払うお金がカバンに入っていた。得意先の人がお金を取りに行くので渡してくれないか」との電話

○ 子ども・医師・駅職員騙り

- ① 医師から「子どもさんが喉の手術をする」との電話
- ② 子どもから「財布をなくしたが、手術代を払わなければいけない」との電話
- ③ 駅職員から「子どもさんの財布と携帯電話が届けられている」との電話
- ④ 子どもから「〇〇さんが手術代を取りに行くので、渡して欲しい」との電話

※信用を得るために、騙す前日に、子どもを名乗り「保険の書類が届くから受け取っておいて」等の電話があることもあります。他にも、**会社の金を横領した。投資で借金を負った。弁護士がお金を取りに行く**等の手口も発生中。



被害防止のための対策

知らない電話番号からの電話に出ない！

- ☆ 留守番電話に設定し、**相手が名乗ってから出る。**
- ☆ 役所や警察と言われても出ず、**自分で番号を調べて掛けなおす。**

他人を介してお金を渡すことは絶対にしない！

- ☆ 困っている本人が直接とりに行くのが道理です。

